

# 長野県 信濃町

## 森林資源を活用した新たなビジネスモデル開発

### Iプロジェクト背景

大正時代から別荘地や保養地として愛されてきた野尻湖、作家ミヒャエル・エンデの世界観を映したような黒姫高原、ヨーロッパを思わせるような独特の自然景観が魅力の町、信濃町。

しなの町Woods-Life Community※では、豊かな自然環境を活かした全国に類をみない保養型観光地を目指して、「癒しの森事業」を進めています。町と都市部企業が協定を結び、森林の持つ効果で心身のバランスを取り戻す「森林セラピー」を社員研修や福利厚生に取り入れ健康やメンタルヘルス向上に役立てる取り組みが、近年全国的なモデルとなっています。

しかし、企業と連携したモデル手法は確立しものの、新たな手法を確立し、進化が求められる時代。新たなビジネスモデルを開発し、お客様がお帰りになっても、それぞれの場所で信濃町の森を味わうことができるような仕掛けをつくることが求められています。

### I目指すゴール

「森の豊かさを感じられ、心が癒やれる」商品の開発を行い、癒しの森事業の新たな収益モデルへ育てていく。



### リアルな体験に縛られない新しいビジネスモデル

企業への森林セラピー(B2B・リアル体験)を収益の柱としたビジネスモデルで成功。新たな手法を開発したい今、リアルな体験だけでない形で森の魅力を伝え、人々を癒す事業を開発し、収益の柱に育てていきたい。

### I事業パートナー(最終提案先)



しなの町Woods-Life Communityとは、信濃町森林療法研究会一ひとときの会一、一般財団法人C.W. ニコル・アフアの森財団、そして(株)さとゆめの3者が集まった共同体です。今回のプランの提案先であり、ともに事業化を目指していくパートナーでもあります。